

田尻町

「たじりっち」がいる
ページ(□のところ)
に書き込んで、
自分・家族だけの
マップをつくろう。

総合 防災 マップ



田尻町マスコットキャラクター
たじりっち

TAJIRI
TOWN
70
th
Anniversary
2023



ひもやフックを通してドア等にかけて、
いつでも見られるようにしましょう。

玄関・リビングなどわかりやすいところに保管してください



P.1はじめに
P.2普段からの心構え
P.3,4津波ハザードマップ
P.5地震ハザードマップ
P.6地震・津波災害に備えて
P.7避難のポイント
P.8地震・津波発生時の行動

P.9,10洪水・土砂災害ハザードマップ
P.11,12内水ハザードマップ
P.13,14高潮ハザードマップ
P.15風水害に備えて
P.16,17避難のポイント
P.18マイ・タイムラインをつくろう

はじめに

災害に対しては日頃からの備えが重要です。“自らの安全は自らが守る”ための行動や対応をとることが被害を少なくすることにつながります。「田尻町総合防災マップ」は、住民のみなさんに防災に関する情報を提供し、事前の備えに役立てていただくことを目的に作成しました。

田尻町で起こりうる災害



近い将来、巨大地震は必ずやってきます。南海トラフ巨大地震が発生した場合、田尻町では、最大震度6弱、建物全半壊639棟、死傷者数205人の被害が想定されています。また、台風や豪雨などの水害も年々頻発化、激甚化しています。

左の写真は、平成30年9月の台風21号により発生した、吉見の里南付近の被害の様子です。電柱などが倒れ、道路が通行困難な状況となりました。町内でも、住宅被害、停電、断水が起きました。

地域ぐるみで取り組む防災・減災

防災・減災の基本は、日頃から災害に備え、「自助」「共助」「公助」が互いに連携し被害を最小限に留めることが重要です。大きな災害が起きると町・消防・警察などの公的機関は道路の確保や消火活動に追われ、物資などの支援体制が整うまでに少なくとも3日はかかると言われています。

日頃から地域社会や近所とのつながり、連帯感を深めることで地域ぐるみの頼れるつながりとなります。

自主防災会の中心となっている地区会は、地域最大のコミュニティ組織で、地域のつながりを深め、地域に住む人々がお互いに協力し合って住みよいまちづくりのために活動しています。田尻町では、災害時の安否確認訓練など地区会が中心となって行っています。災害に備えて地区会に入りましょう。

自助 自分の命は自分で守る

共助 自分たちの地域は自分たちで守る

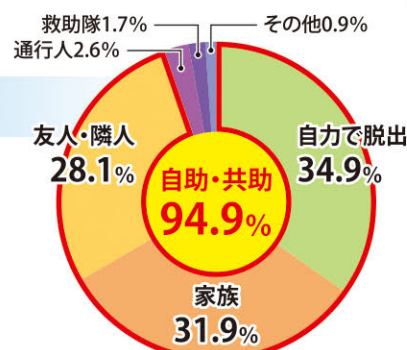
公助 町・消防・警察、ライフラインを支える各社による対応

住民同士が協力して地域の防災力を高めよう

阪神淡路大震災での教訓

阪神淡路大震災では生き埋めになった人や閉じ込められた人の9割以上が自力又は家族、隣人などから救出されています(右図)。日頃からの近所のつながりが災害時に頼れるつながりになります。

出典：(財)日本火災学会「1995年兵庫県南部地震における火災に関する調査報告書」参照



普段からの心構え

町の取り組み

田尻町では、自助、共助の力を高めるため、自主防災会が中心となり、「無事印(ぶじるし)タオル」(オレンジ色のタオル)を使った安否確認訓練を実施しています。「無事印タオル」を玄関先に掲げることで外から安否を確認することができます。ハンカチ、Tシャツなど目立つオレンジ色のもので代用してもかまいません。災害時にすぐに出せるよう、玄関付近に備えておきましょう。



非常持ち出し品・備蓄品の準備

▶備蓄品は最低3日分、できれば1週間分備えておきましょう。

▶飲料水は9リットル(1人1日3リットル)を目安に家族の人数分用意しておきましょう。

チェックリストを参考に災害時に備えよう。



食料

- ☐ 飲料水
- ☐ 非常食
- ☐ 缶詰
- ☐ レトルト食品
- ☐ 粉ミルクと哺乳瓶



救急・安全対策

- ☐ 常備薬
- ☐ お薬手帳
- ☐ マスク
- ☐ 包帯、ガーゼ、ばんそうこう
- ☐ 傷薬、消毒薬
- ☐ ヘルメット、防災ずきん



貴重品

- ☐ 現金(小銭)
- ☐ 預貯金通帳、印鑑
- ☐ クレジットカード類
- ☐ 健康保険証
- ☐ 免許証など



日用品など

- ☐ 卓上コンロ
- ☐ ガスボンベ
- ☐ ナイフ、缶切り
- ☐ ポリ袋(ビニール袋)
- ☐ 食品用ラップ
- ☐ 歯ブラシ
- ☐ おむつ
- ☐ ティッシュペーパー
- ☐ 生理用品
- ☐ 布ガムテープ
- ☐ ロープ
- ☐ 軍手
- ☐ モバイルバッテリー
- ☐ 地図(ハザードマップ)



非常持ち出し品の例

- 飲料水
- 非常食
- 赤ちゃんのミルク・おむつ
- ウェットティッシュ
- 簡易トイレ
- 懐中電灯
- 携帯ラジオ
- 笛・ブザー
- ブランケット・毛布



リュックサックなどにまとめておきましょう。

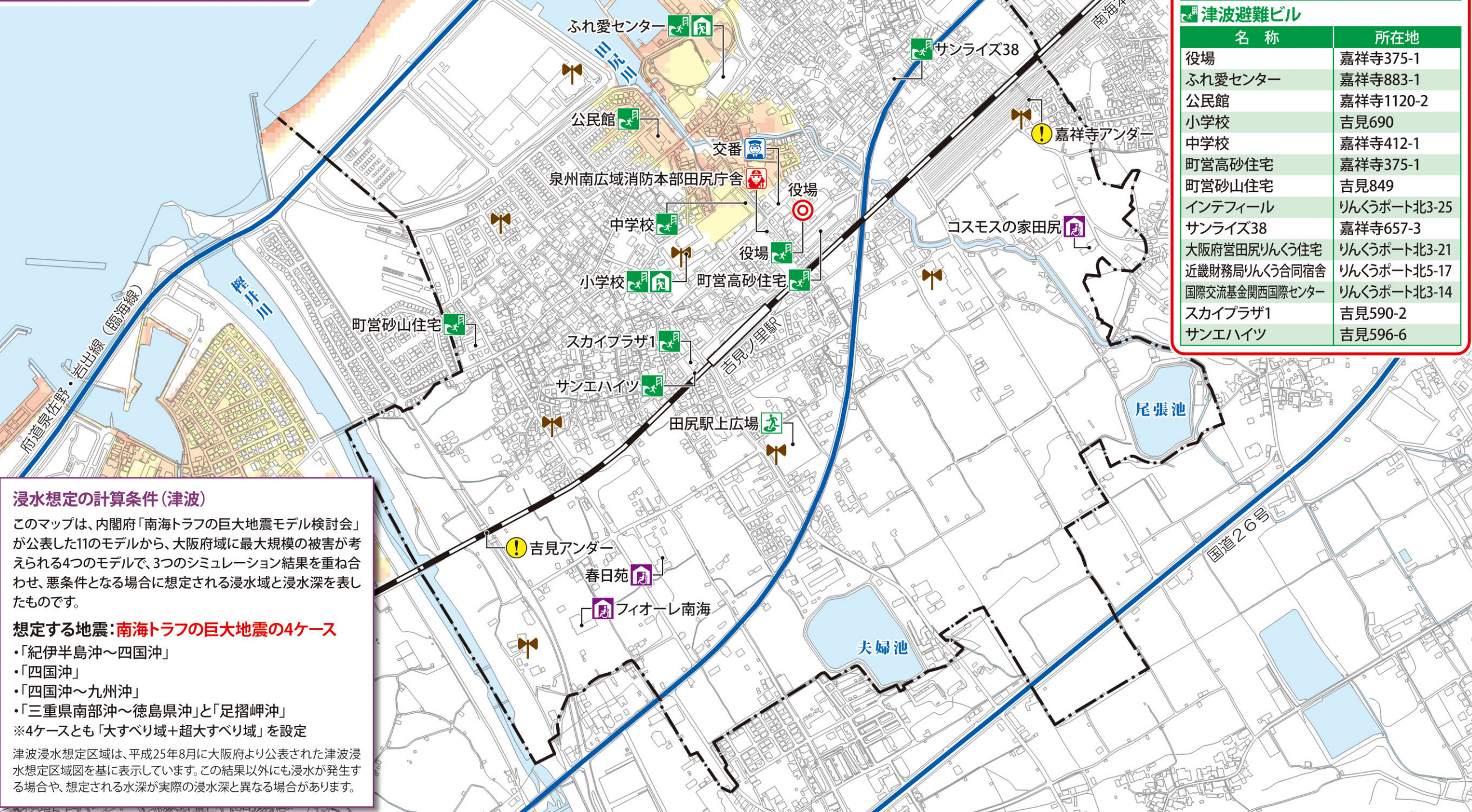
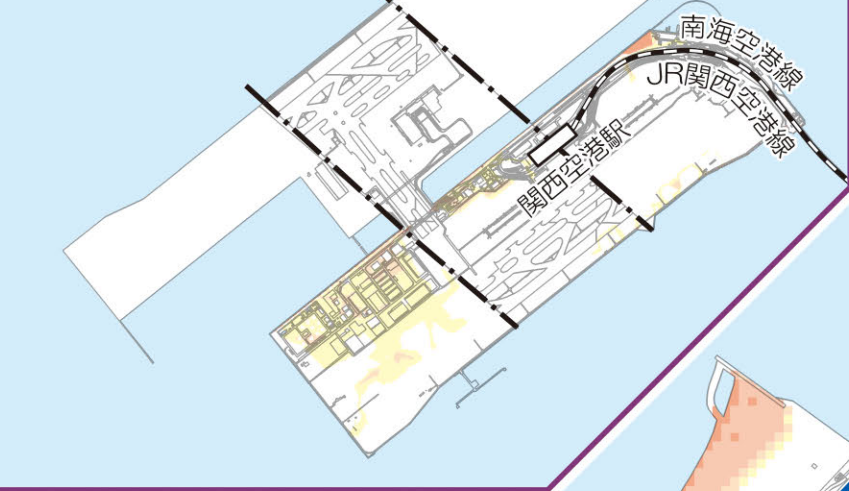
「ローリングストック」を心がけましょう

ローリングストックとは、普段から使っている食材・加工品を多めに買って置き、使ったら使った分だけ買い足して、常に一定量のストックがある状態を保つことです。常に新しくなるので、消費期限切れの心配もないので安心です。



関西国際空港

1:60,000 0 1500m



浸水想定計算条件(津波)

このマップは、内閣府「南海トラフの巨大地震モデル検討会」が公表した11のモデルから、大阪府域に最大規模の被害が考えられる4つのモデルで、3つのシミュレーション結果を重ね合わせ、悪条件となる場合に想定される浸水域と浸水深を表したものです。

想定する地震：南海トラフの巨大地震の4ケース

- ・「紀伊半島沖～四国沖」
- ・「四国沖」
- ・「四国沖～九州沖」と「足摺岬沖」
- ・「三重県南部沖～徳島県沖」と「足摺岬沖」

※4ケースとも「大すべり域+超大すべり域」を設定

津波浸水想定区域は、平成25年8月に大阪府より公表された津波浸水想定区域図を基に表示しています。この結果以外にも浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

自宅の浸水深や避難先を記入しよう。



津波浸水時:

被害 ☐ なし 予測される浸水深
☐ あり → _____ m ~ _____ m

避難先

一時避難場所

名称	所在地
田尻駅上広場	吉見425-1

避難所

名称	所在地
ふれ愛センター	嘉祥寺883-1
小学校	吉見690

津波避難ビル

名称	所在地
役場	嘉祥寺375-1
ふれ愛センター	嘉祥寺883-1
公民館	嘉祥寺1120-2
小学校	吉見690
中学校	嘉祥寺412-1
町営高砂住宅	嘉祥寺375-1
町営砂山住宅	吉見849
インテフィール	りんくうポート北3-25
サンライズ38	嘉祥寺657-3
大阪府営田尻りんくう住宅	りんくうポート北3-21
近畿財務局りんくう合同宿舍	りんくうポート北5-17
国際交流基金関西国際センター	りんくうポート北3-14
スカイプラザ1	吉見590-2
サンエハイツ	吉見596-6

津波ハザードマップ

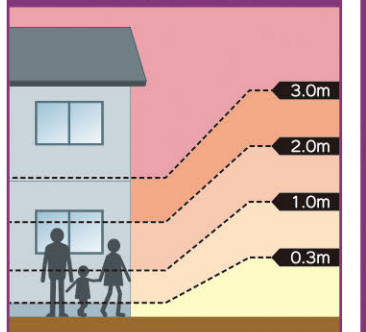
津波浸水想定区域

- 0.3m未満
- 0.3m～1.0m未満
- 1.0m～2.0m未満
- 2.0m～3.0m未満
- 3.0m以上

施設等

- 一時避難場所
- 避難所
- 福祉避難所
- 津波避難ビル
- 町役場
- 消防署
- 交番
- 地下道(通行注意箇所)
- 防災行政無線スピーカー
- 市町境界
- 広域道路
- 鉄道

浸水深の目安



最大津波水位

海面から約**3.3m**

最短到達時間

約**80分**

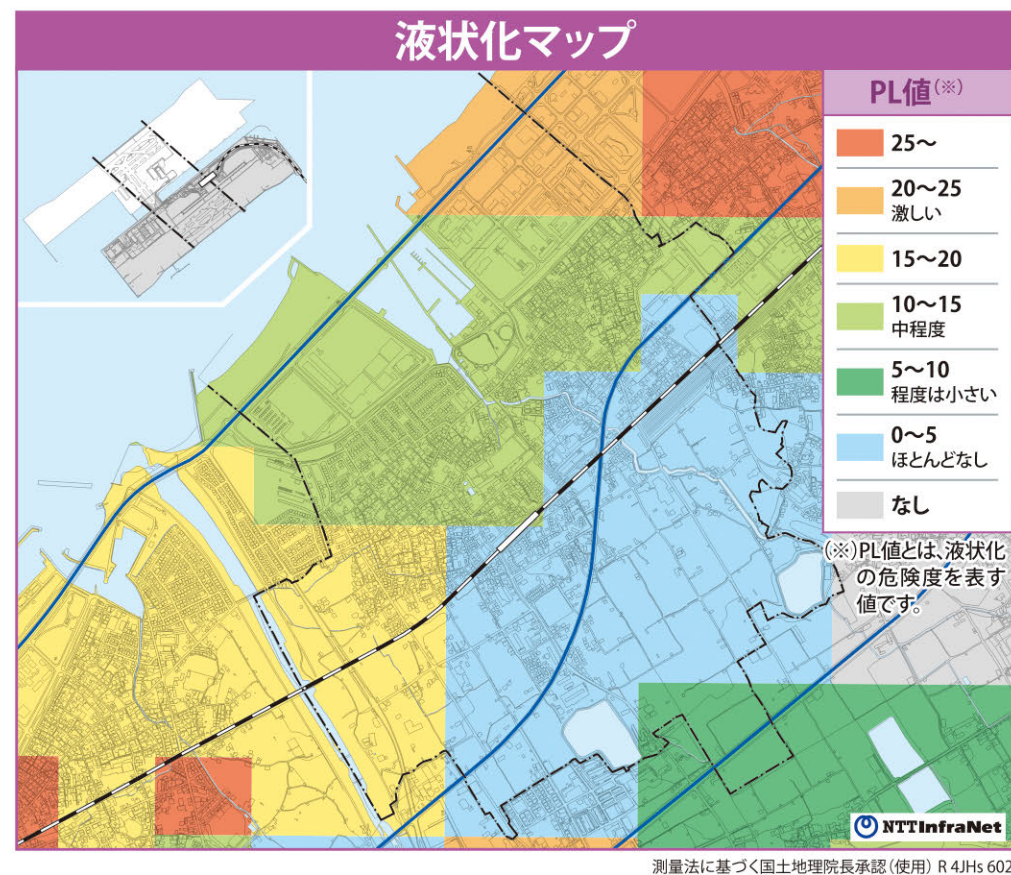
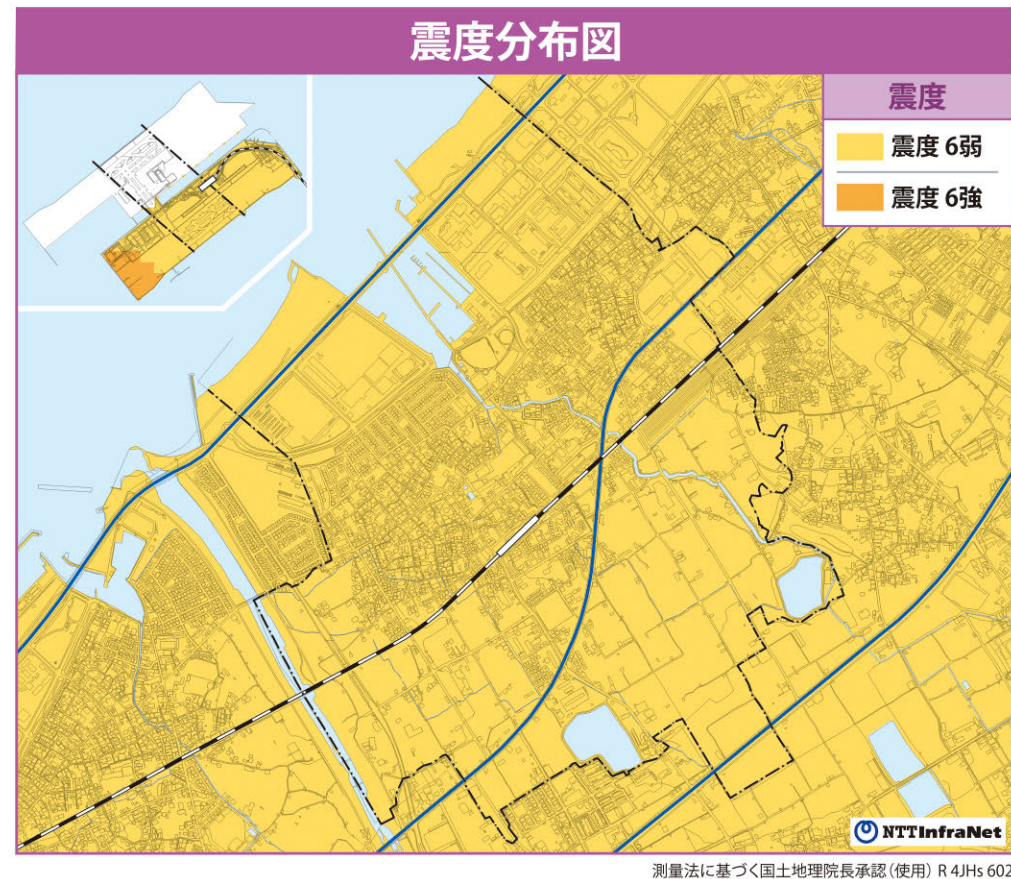


1:8,500 0 200m

地震ハザードマップ

南海トラフ巨大地震の震度分布図と液状化マップ

このマップは、大阪府が公表している震度分布・液状化可能性(平成25年8月算出)を基に作成しています。
田尻町では、全域に最大震度6弱の揺れが予想されています。



震度と揺れの状況

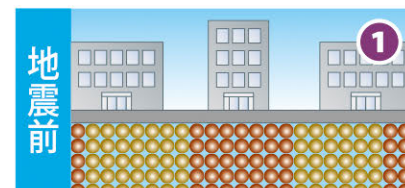


- 立っていることが困難になります。
- 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがあります。

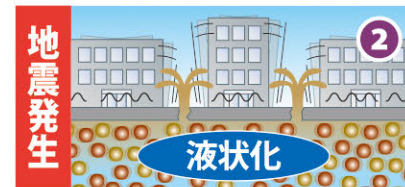


- はわないと動くことができません。飛ばされることもあります。
- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが多くなります。

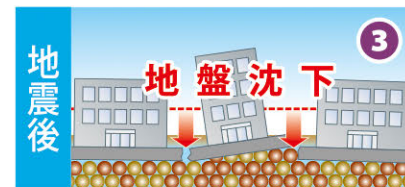
液状化現象とは…



砂などの粒がお互にくっついて、その間に水がある状態です。



砂の粒同士が離れて、水に浮いた状態になります。



バラバラになった砂の粒が沈んで、地面に水が出てきます。

地震・津波災害に備えて

屋内の安全対策

事前に家具などの固定や配置方法を工夫して、屋内の安全性を高めておきましょう。

対策済みの項目にチェックしよう。



収納に工夫を

- タンスや本棚などに物を入れる場合は、重いものは下に、軽い物は上に収納するようにします。
- 本棚は隙間をブックエンドで固定するなど、なるべく空間を作らないようにしましょう。

照明器具の補強を

- 吊り下げ式の照明器具は、チェーンなどで止めておきましょう。

置き方に工夫を

- 家具の下部の前方に転倒防止のビニール樹脂状のものを入れ、壁にもたれ気味にします。

倒れた家具が部屋の出口をふさがないように配置を変えましょう。

正しい配置

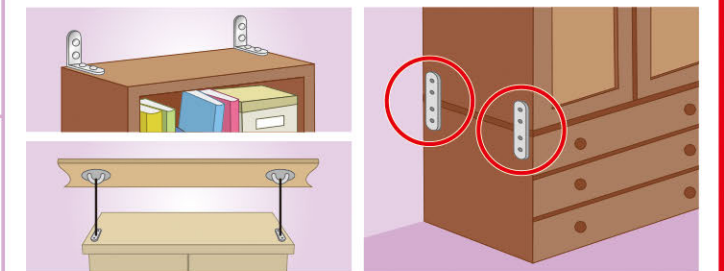
ガラスの飛散防止を

- ガラスが割れて飛び散らないようにシートなどを貼りましょう。

耐震金具を利用しよう

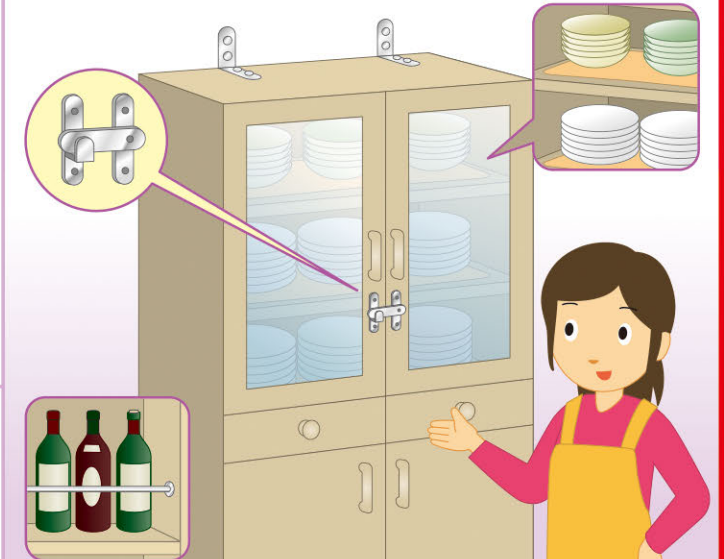
●家具の固定

- 本棚やタンスなどの重い家具が倒れないように固定しましょう。



●扉・引き出し開放防止金具

- 食器棚などの扉が開かないように金具で留めましょう。さらに棚板にふきんを置いたり、木やアルミ棒による飛び出し防止枠をつけると安心です。

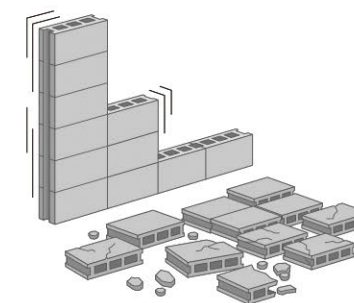


屋外の安全対策

事前に家の周りを点検し、屋外の安全性を高めておきましょう。

壁・塀

- 壁や塀にひび割れなどがないか、腐ったりしていないか点検しましょう。
- ブロック塀は、地震の揺れにより崩れる可能性があるため、点検しましょう。



ガスボンベ

- ガスボンベは、動かないように壁に固定しましょう。
- ガスボンベの周りには、物を置かないようにしましょう。



避難のポイント

緊急地震速報を見聞きしたら

緊急地震速報は、地震発生直後にもうすぐ強い揺れがくるのを知らせるものです。ただし、震源域に近い地域では「緊急地震速報」が強い揺れに間に合わないことがあります。



車の運転中は…

ハザードランプを点灯し、路肩に寄せてゆっくり停止します。



屋外では…

看板や割れたガラスの落下に注意し、建物のそばから離れましょう。

津波からの避難

地震発生時には、以下のことに気をつけて、落ち着いて行動しましょう。



小さな揺れでも油断禁物

たとえ小さな地震でも、津波が発生する危険性があります。



正しい情報を聞く

携帯ラジオ・防災行政無線などで、正しい情報を聞きましょう。



より高い場所へ避難する

海岸から「より遠く」ではなく、「より高い」場所へ避難しましょう。



車での避難は控える

車は約30cmの浸水で走行困難になります。車での避難は控えましょう。

津波に関する警報・注意報

種 類	発表される津波の高さ		とるべき行動	想定される被害
	数値での発表	巨大地震の場合の発表		
大津波警報 (特別警報に位置付け)	10m超 10m 5m	巨大	●沿岸部や川沿いにいる人はただちに避難ビルなど安全な場所へ避難してください。 ●津波は繰り返し襲ってきます。警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。	●木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。
津 波 警 報	3m	高い	ここなら安心と思わず、 より高い場所を目指して 避難しましょう！	●標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。 ●人は津波による流れに巻き込まれます。
津波注意報	1m	(表記しない)	●海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れてください。 ●津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近づいたりしないでください。	●海の中では人は速い流れに巻き込まれます。

避難のポイント

地震・津波発生時の行動

地震発生時には、あわてずに、まず身の安全を確保しましょう。

海岸付近で強い揺れを感じた場合は、すぐに津波が襲来することがありますので、津波警報や津波注意報の発表を待たず、ただちに避難してください。

地震や津波が発生したときの避難先を記入しよう。



地震発生！ 津波発生！

▼0～2分

地震の揺れから身を守る

●机・テーブルの下に隠れる。

▼2～5分

揺れが収まったら、安全を確保する

●ドアや窓を開けて逃げ道を確保する。

●ブレーカーを落とし、ガスの元栓を閉める。

※窓ガラスや食器などが床に散らばっている可能性もあるので、ケガをしないようにスリッパや靴をはく。

▼5～10分

無事印タオルを掲げる

●災害時に各家庭の安否を知らせるオレンジの目印「無事印タオル」を掲げる。

●家族全員の無事が確認されたら、安否確認を行うために、玄関・門扉・ポストなどにタオルを掲げる。

●タオルが掲げられていると、外からその家庭が無事とわかり、効率的に安否確認ができる。

●けが人がいたら、近隣で力を合わせて救助に当たる。

●近隣で火が出ていたら、119番すると同時に消火活動に当たる。

▼10分以上

津波から避難する

●津波が到達する地域・自宅等が危険な場合は、すぐに南海線より山側に避難する。

●逃げ遅れたら、緊急的に津波避難ビルなどへ避難する。

※様々な状況を想定し、避難路は複数考えておく。

情報を入手する

●安全な場所に移動してから、テレビ・ラジオなどで正確な情報を確認する。

80分 津波到達

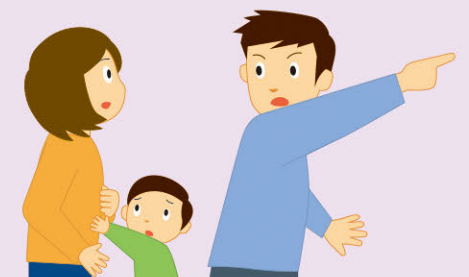
津波警報が解除されたら、安全が確認できたら

●自宅が無事なら自宅へ戻る。

●自宅が危険な場合、避難所へ行く。

●避難所では、集団生活のルールを守り、助け合いの心を持つ。

わが家の避難先



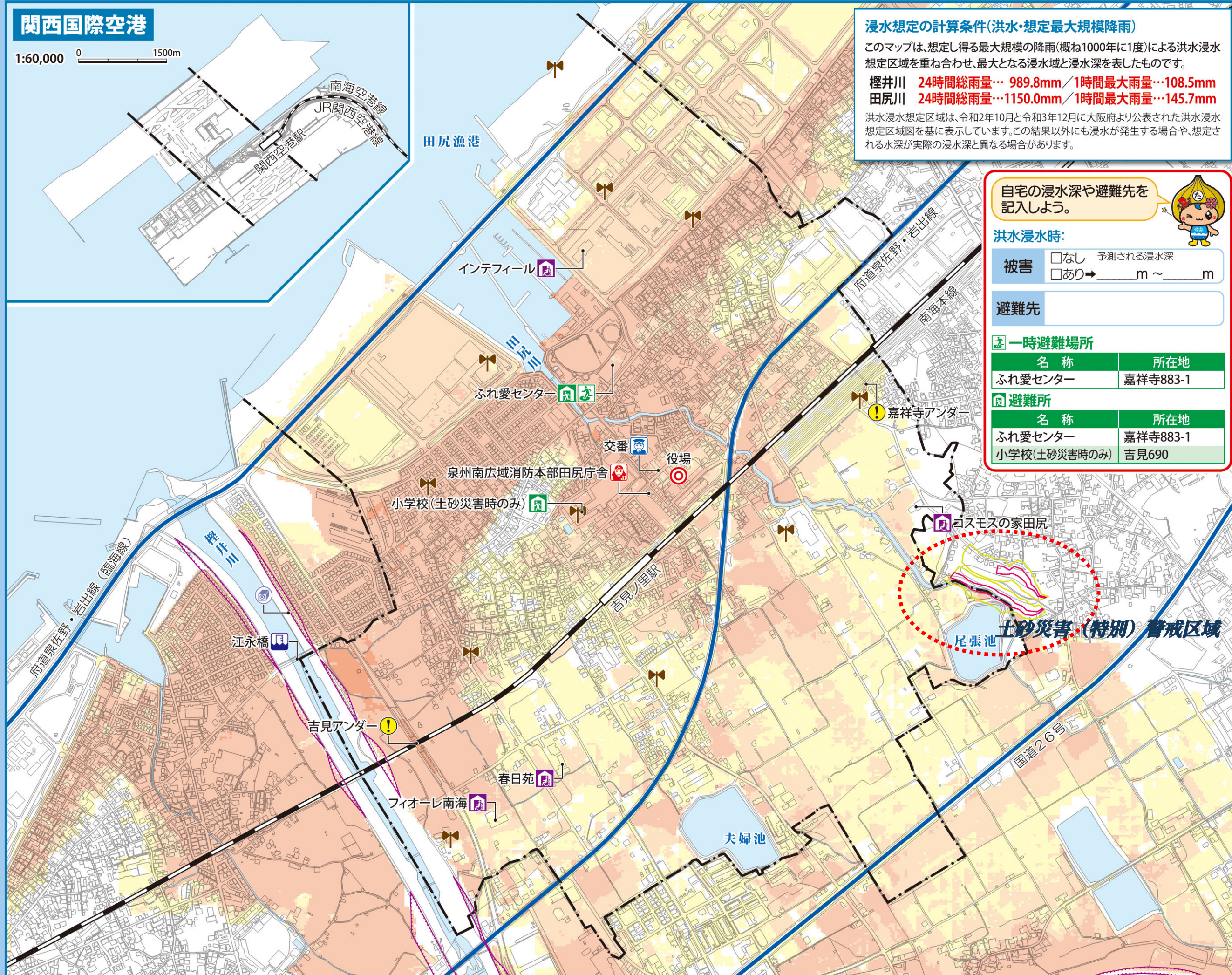
関西国際空港にいるときに地震・津波が発生したときは…

関西エアポート株式会社グループでは、震度6弱以上の地震及び大津波警報発表時における関西国際空港内での避難行動や避難場所をまとめています。関西国際空港で働いている方は、地震発生時に適切な対応がとれるよう事前に確認しておきましょう。

関西空港 避難行動 検索

関西国際空港

1:60,000 0 1500m



洪水想定計算条件(洪水・想定最大規模降雨)

このマップは、想定し得る最大規模の降雨(概ね1000年に1度)による洪水浸水想定区域を重ね合わせ、最大となる浸水域と浸水深を表したものです。

櫻井川 24時間総雨量… 989.8mm / 1時間最大雨量…108.5mm
田尻川 24時間総雨量…1150.0mm / 1時間最大雨量…145.7mm

洪水浸水想定区域は、令和2年10月と令和3年12月に大阪府より公表された洪水浸水想定区域図を基に表示しています。この結果以外にも浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

自宅の浸水深や避難先を記入しよう。



洪水浸水時:

被害 ☐なし 予測される浸水深
☐あり→ ____m ~ ____m

避難先

一時避難場所

名 称	所在地
ふれ愛センター	嘉祥寺883-1

避難所

名 称	所在地
ふれ愛センター	嘉祥寺883-1
小学校(土砂災害時のみ)	吉見690

洪水・土砂災害 ハザードマップ

洪水浸水想定区域

- 0.5m未満
- 0.5m~1.0m未満
- 1.0m~3.0m未満
- 3.0m以上

家屋倒壊等氾濫想定区域

河岸侵食

家屋倒壊等氾濫想定区域とは、河川の氾濫や河岸侵食により家屋の倒壊・流出等の危険性がある区域の目安を示すものです。

※早期の立退き避難が必要な区域です。

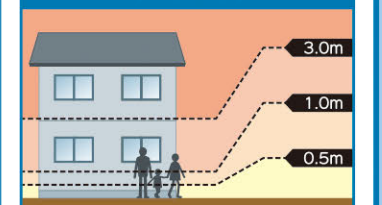
土砂災害(特別)警戒区域

- 警戒区域
- 特別警戒区域

施設等

- 一時避難場所
- 避難所
- 福祉避難所
- 町役場
- 消防署
- 交番
- 地下道(通行注意箇所)
- 水位観測所
- 河川カメラ
- 防災行政無線スピーカー
- 市町境界
- 広域道路
- 鉄道

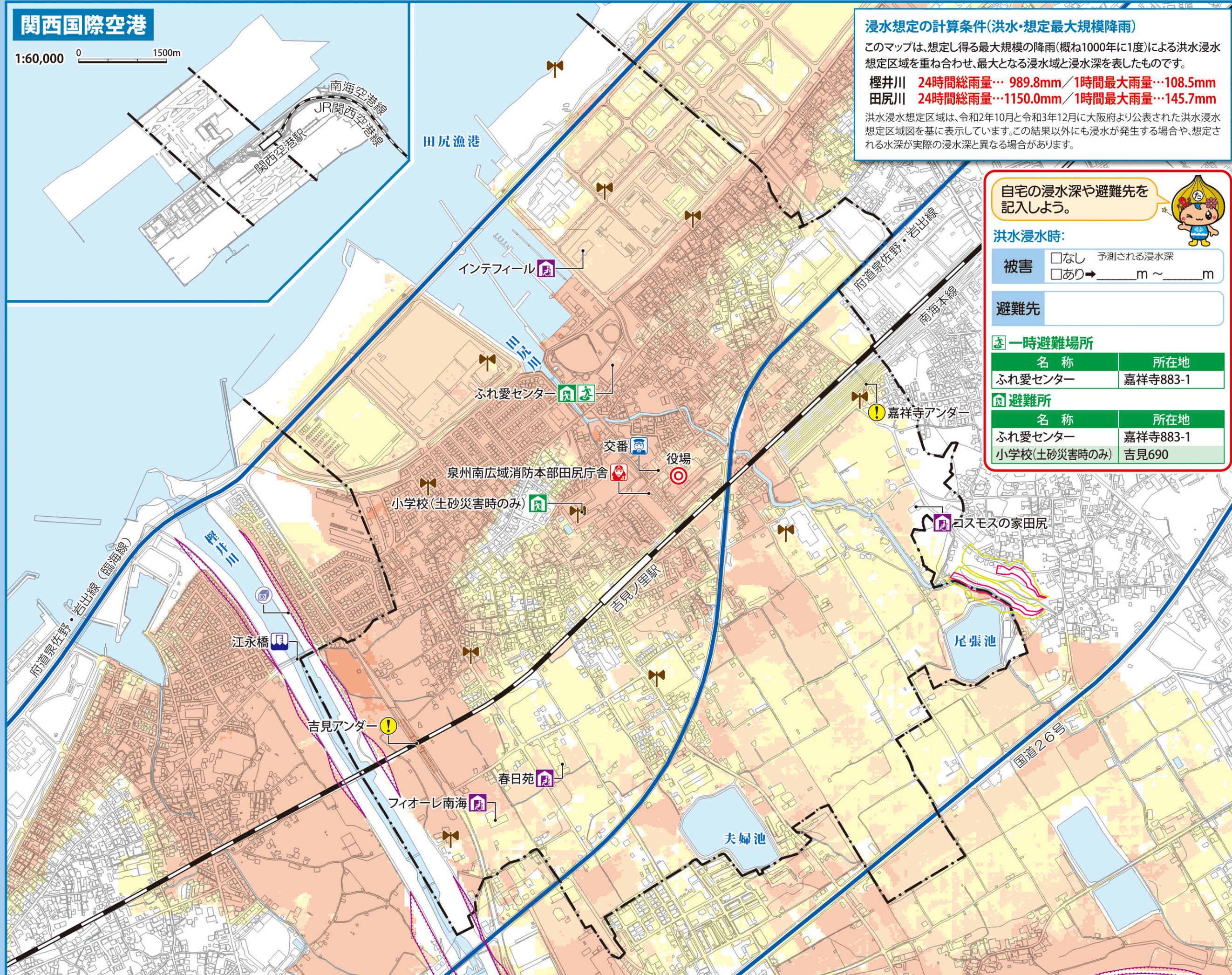
浸水深の目安



1:8,500 0 200m

関西国際空港

1:60,000 0 1500m



洪水想定計算条件(洪水・想定最大規模降雨)

このマップは、想定し得る最大規模の降雨(概ね1000年に1度)による洪水浸水想定区域を重ね合わせ、最大となる浸水域と浸水深を表したものです。

櫻井川 24時間総雨量… 989.8mm / 1時間最大雨量…108.5mm
田尻川 24時間総雨量…1150.0mm / 1時間最大雨量…145.7mm

洪水浸水想定区域は、令和2年10月と令和3年12月に大阪府より公表された洪水浸水想定区域図を基に表示しています。この結果以外にも浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

自宅の浸水深や避難先を記入しよう。



洪水浸水時:

被害 ☐なし 予測される浸水深
☐あり→ ____m ~ ____m

避難先

一時避難場所

名 称	所在地
ふれ愛センター	嘉祥寺883-1

避難所

名 称	所在地
ふれ愛センター	嘉祥寺883-1
小学校(土砂災害時のみ)	吉見690

洪水・土砂災害 ハザードマップ

洪水浸水想定区域

- 0.5m未満
- 0.5m~1.0m未満
- 1.0m~3.0m未満
- 3.0m以上

家屋倒壊等氾濫想定区域

河岸侵食

家屋倒壊等氾濫想定区域とは、河川の氾濫や河岸侵食により家屋の倒壊・流出等の危険性がある区域の目安を示すものです。

※早期の立退き避難が必要な区域です。

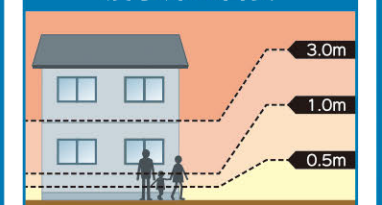
土砂災害(特別)警戒区域

- 警戒区域
- 特別警戒区域

施設等

- 一時避難場所
- 避難所
- 福祉避難所
- 町役場
- 消防署
- 交番
- 地下道(通行注意箇所)
- 水位観測所
- 河川カメラ
- 防災行政無線スピーカー
- 市町境界
- 広域道路
- 鉄道

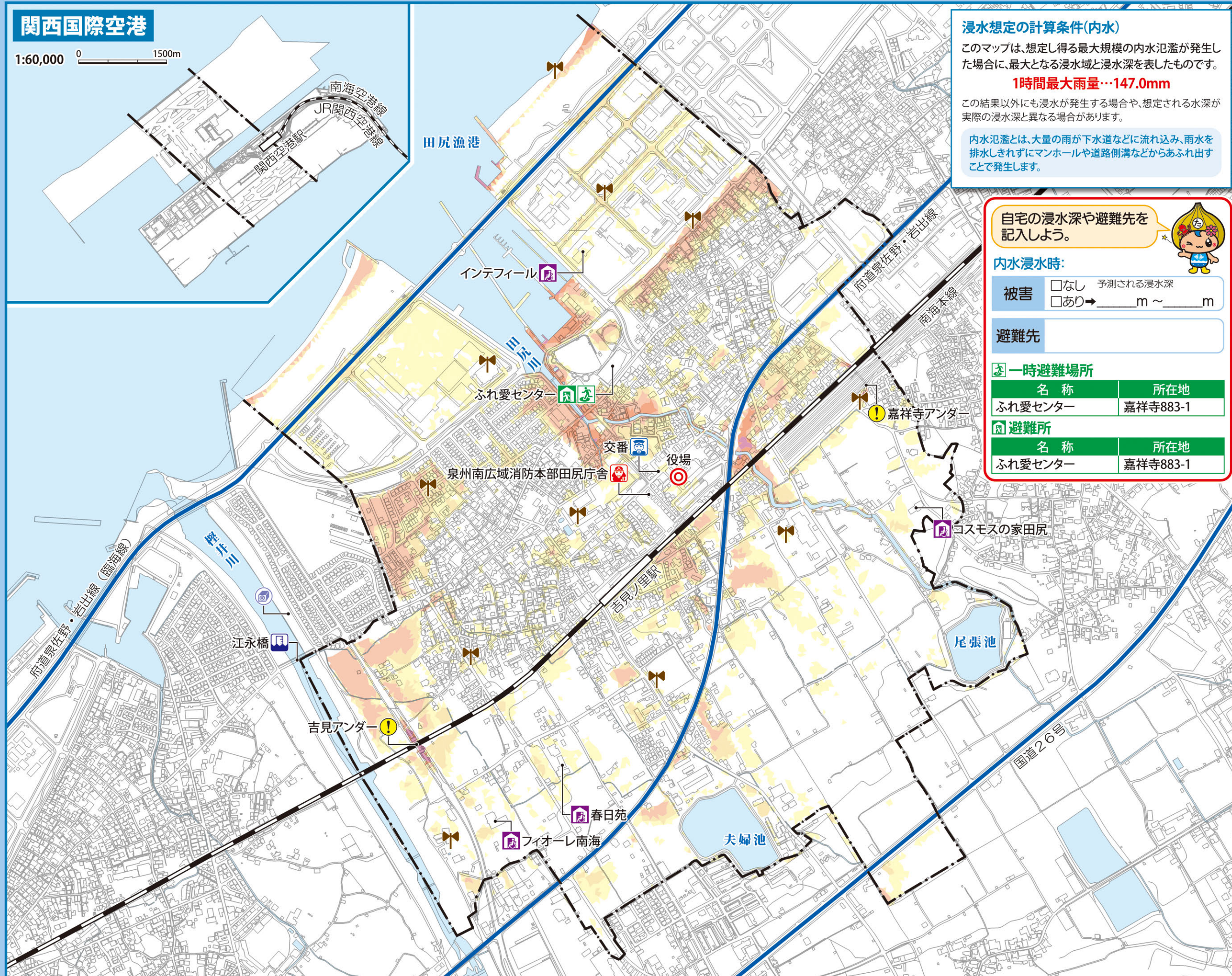
浸水深の目安



1:8,500 0 200m

関西国際空港

1:60,000 0 1500m



浸水想定計算条件(内水)

このマップは、想定し得る最大規模の内水氾濫が発生した場合に、最大となる浸水域と浸水深を表したものです。

1時間最大雨量…147.0mm

この結果以外にも浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

内水氾濫とは、大量の雨が下水道などに流れ込み、雨水を排水しきれずにマンホールや道路側溝などからあふれ出すことで発生します。

自宅の浸水深や避難先を記入しよう。



内水浸水時:

被害 ☐なし 予測される浸水深
☐あり→ _____m ~ _____m

避難先

一時避難場所

名称	所在地
ふれ愛センター	嘉祥寺883-1

避難所

名称	所在地
ふれ愛センター	嘉祥寺883-1

内水ハザードマップ

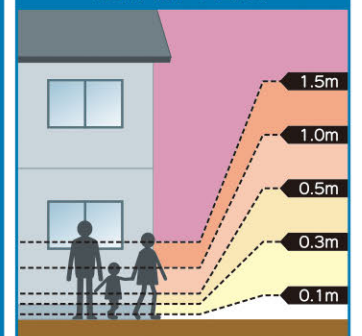
内水浸水想定区域

- 0.1m~0.3m未満
- 0.3m~0.5m未満
- 0.5m~1.0m未満
- 1.0m~1.5m未満
- 1.5m以上

施設等

- 一時避難場所
- 避難所
- 福祉避難所
- 町役場
- 消防署
- 交番
- 地下道(通行注意箇所)
- 水位観測所
- 河川カメラ
- 防災行政無線スピーカー
- 市町境界
- 広域道路
- 鉄道

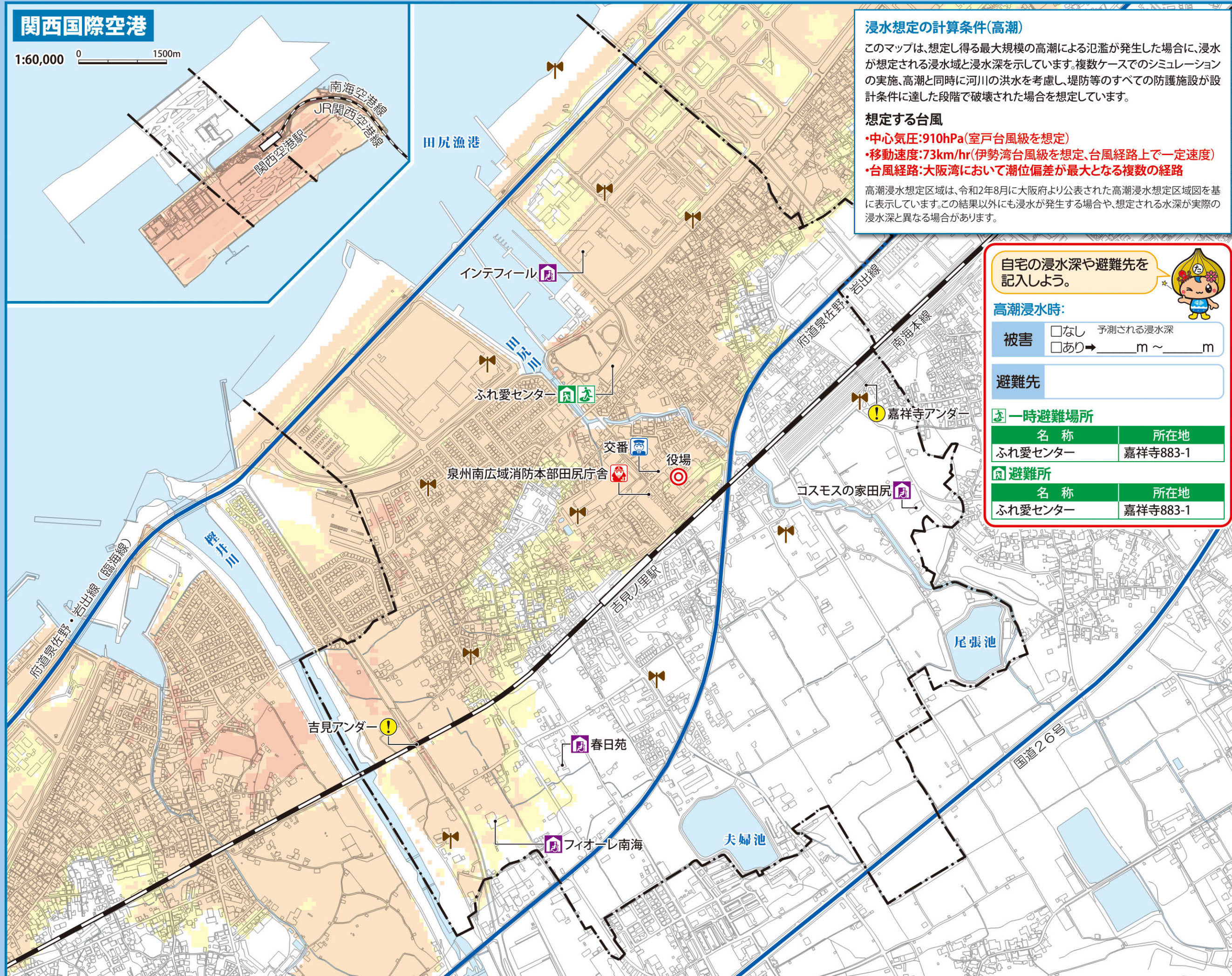
浸水深の目安



1:8,500 0 200m

関西国際空港

1:60,000 0 1500m



浸水想定計算条件(高潮)

このマップは、想定し得る最大規模の高潮による氾濫が発生した場合に、浸水が想定される浸水域と浸水深を示しています。複数ケースでのシミュレーションの実施、高潮と同時に河川の洪水を考慮し、堤防等のすべての防護施設が設計条件に達した段階で破壊された場合を想定しています。

想定する台風

- ・中心気圧:910hPa(室戸台風級を想定)
- ・移動速度:73km/hr(伊勢湾台風級を想定、台風経路上で一定速度)
- ・台風経路:大阪湾において潮位偏差が最大となる複数の経路

高潮浸水想定区域は、令和2年8月に大阪府より公表された高潮浸水想定区域図を基に表示しています。この結果以外にも浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

自宅の浸水深や避難先を記入しよう。



高潮浸水時:

被害 ☐なし 予測される浸水深 ☐あり→ ____m ~ ____m

避難先

一時避難場所

名称	所在地
ふれ愛センター	嘉祥寺883-1

避難所

名称	所在地
ふれ愛センター	嘉祥寺883-1

高潮ハザードマップ

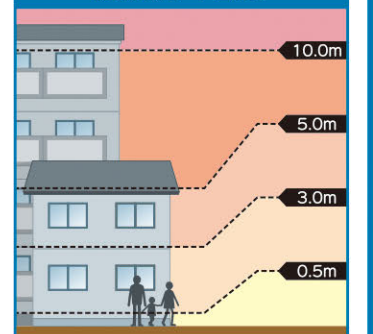
高潮浸水想定区域

- 0.5m未満
- 0.5m~3.0m未満
- 3.0m~5.0m未満
- 5.0m~10.0m未満
- 10.0m以上

施設等

- 一時避難場所
- 避難所
- 福祉避難所
- 町役場
- 消防署
- 交番
- 地下道(通行注意箇所)
- 防災行政無線スピーカー
- 市町境界
- 広域道路
- 鉄道

浸水深の目安



最高潮位

海面から約4.8m



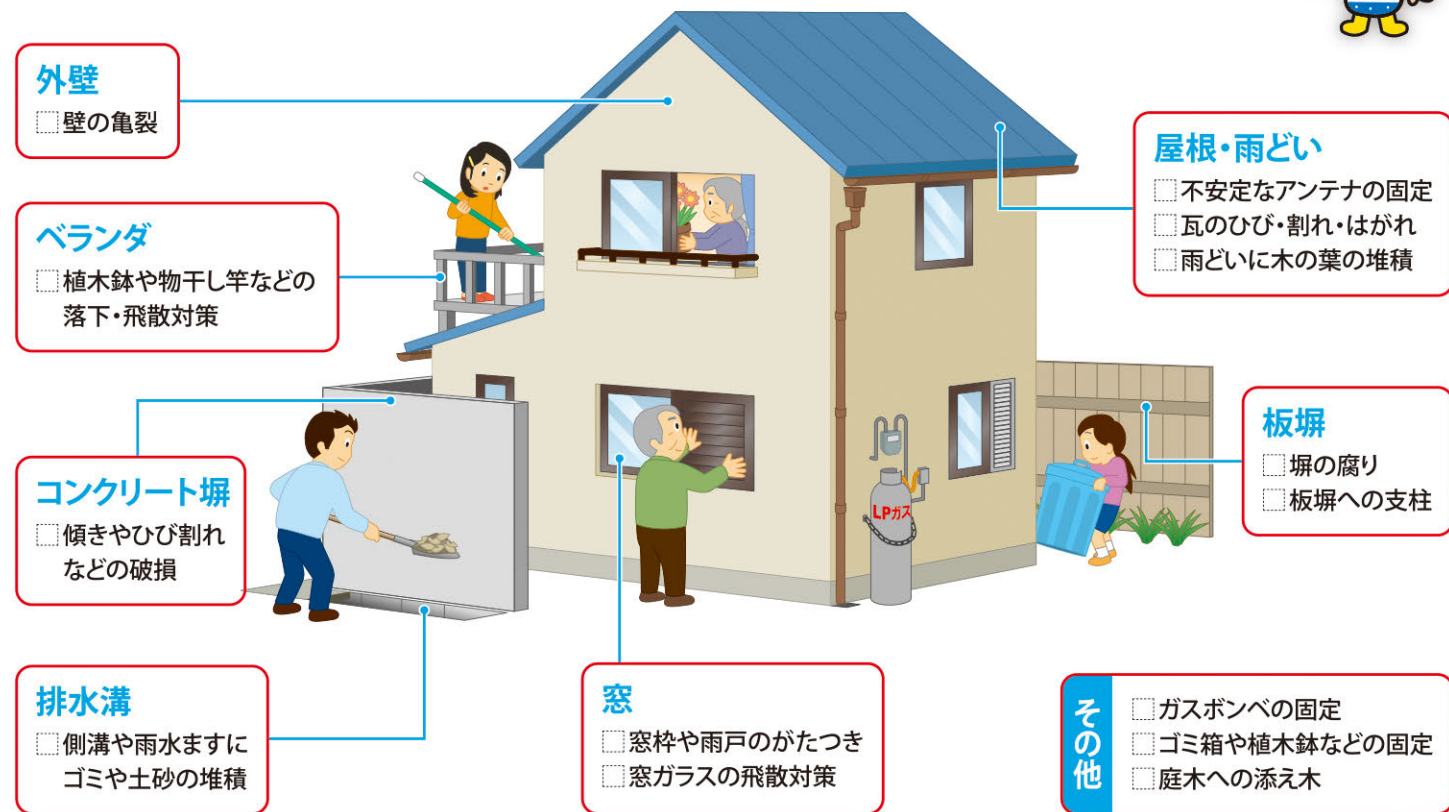
1:8,500 0 200m

風水害に備えて

家庭での備え

風水害による建物の被害を抑えるため、下のイラストを参考に、日頃から建物やその周囲の点検・修理・補強を行っておきましょう。

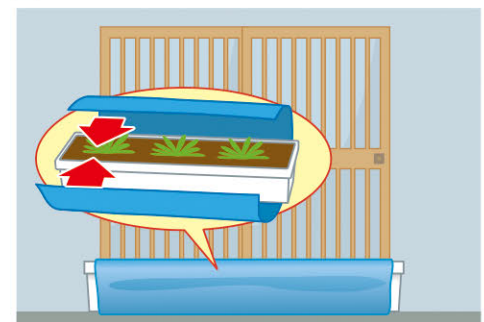
わが家に必要な備えにチェックしよう。



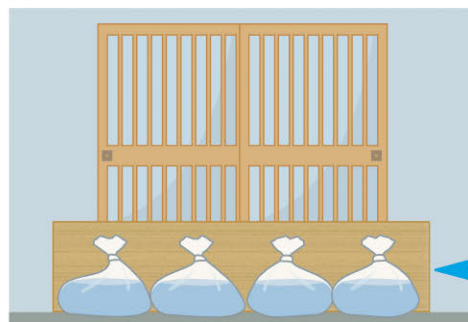
家庭でもできる浸水対策

浸水が浅い場合には、プランターや長めの板(テーブルでも可)などを、ビニールシートに包んで設置する等の方法があります。

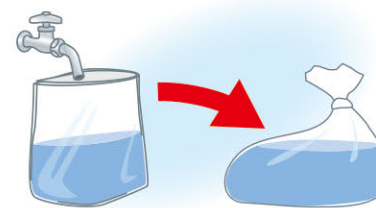
簡易水防工法例① プランター+ビニールシート



簡易水防工法例② 簡易水のう+止水板



「簡易水のう」の作り方



家庭で使用しているごみ袋(40リットル程度の容量)を二重にして、中に半分程度の水を入れて閉めます。

台風時の停電への備え

台風時には被災状況によって停電が長期化することがあります。停電や停電に伴う断水に備えて、懐中電灯、防寒具、飲料水などを準備しておきましょう。



避難のポイント

避難行動〈立退き避難・屋内安全確保と緊急安全確保〉

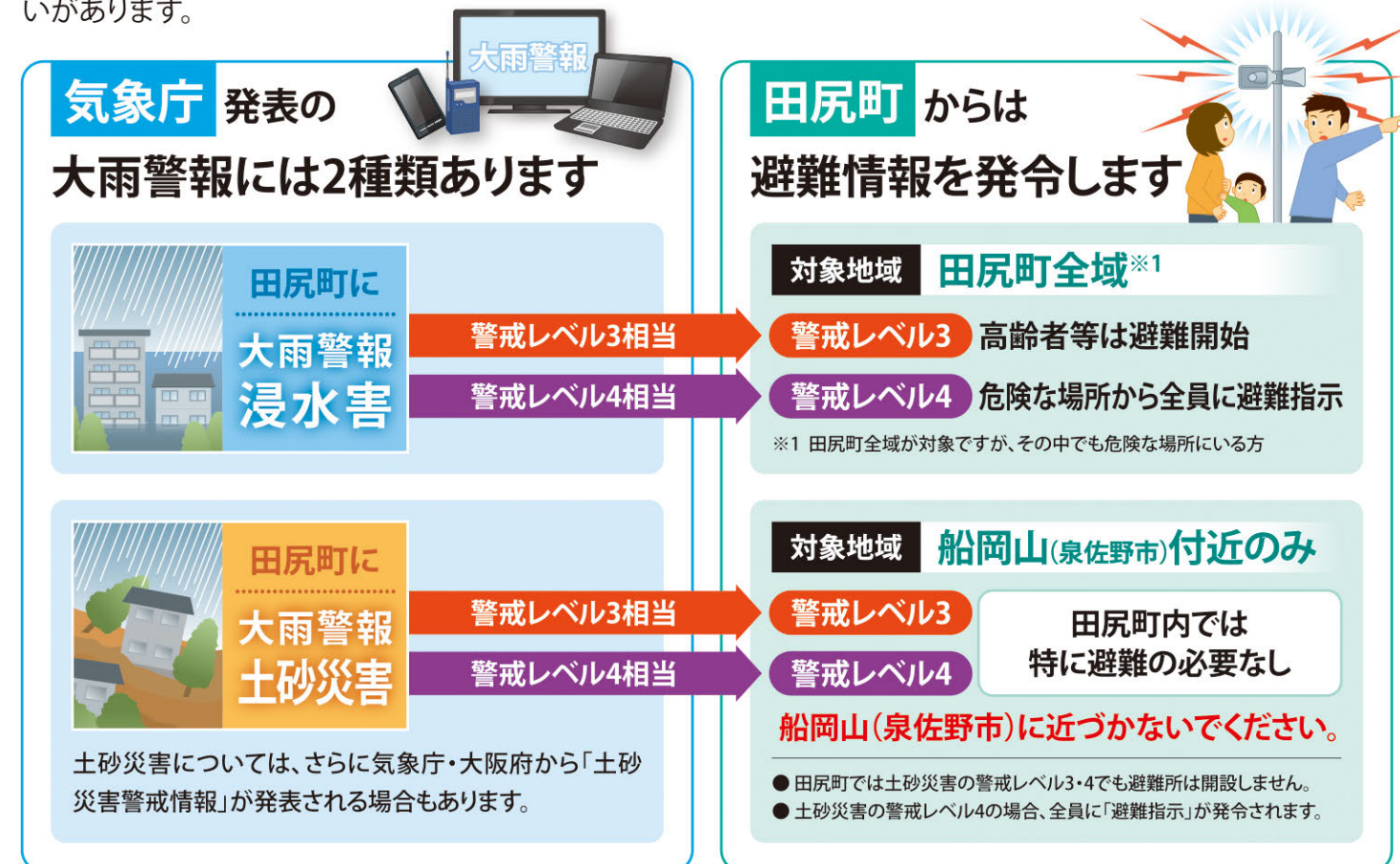
「避難」とは「難」を「避」けること、つまり安全を確保することです。

危険な場所にいる人は、避難場所や親戚・知人宅等へ避難してください。安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません。避難し遅れたために、安全に避難できない場合は、命を守る行動をとってください。



警戒レベルと取るべき行動〈台風・大雨時の避難情報〉

近年、大雨による災害(浸水害、土砂災害)が日本各地で発生しています。大雨時(台風含む)の気象情報である大雨警報には「大雨警報(浸水害)」と「大雨警報(土砂災害)」の2種類があり、避難の対象地域や避難開始目安に違いがあります。

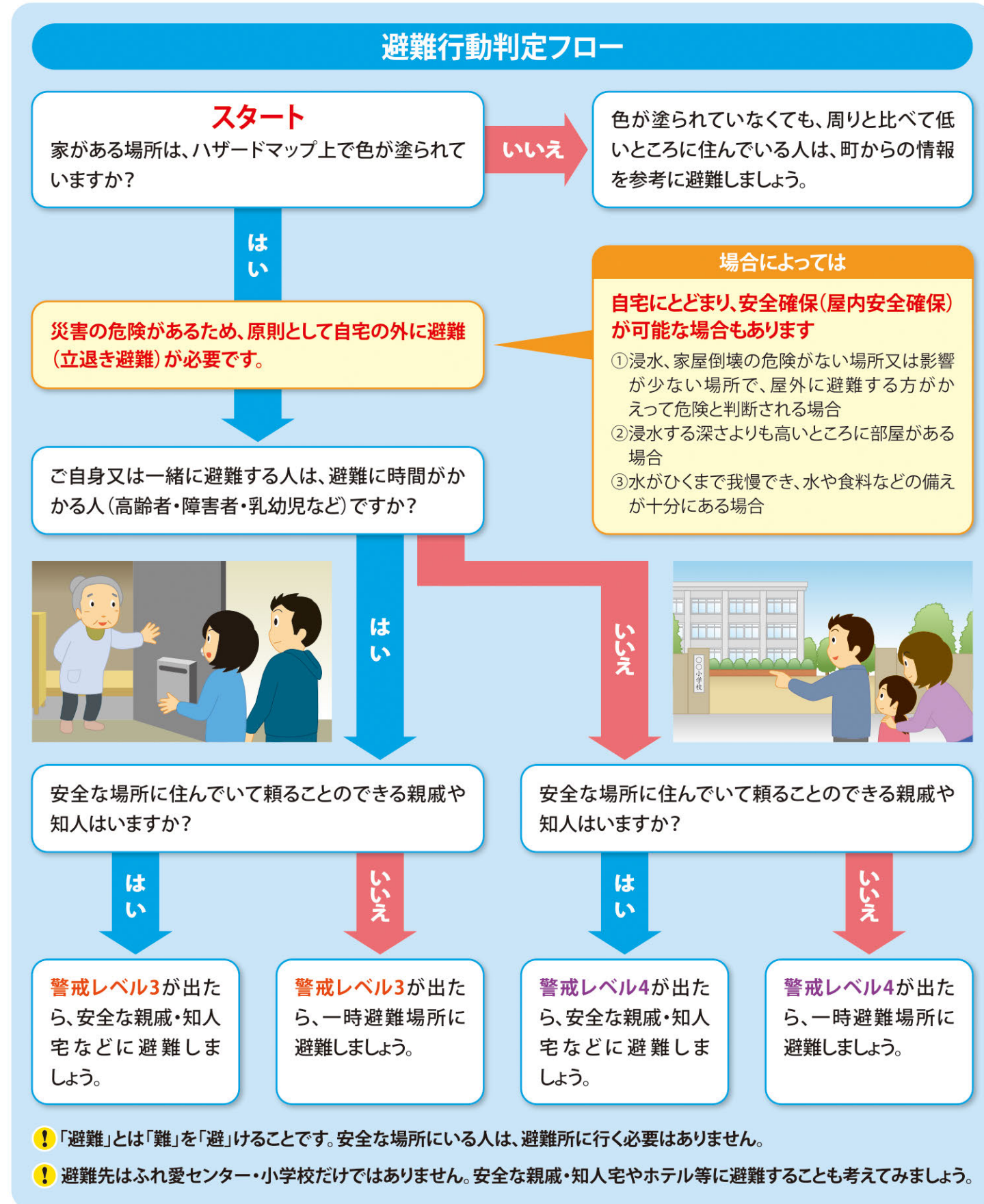


泉州地域に大雨警報が発表されることがありますが、「田尻町」に発表された大雨警報を確認して行動してください。

避難のポイント

避難行動判定フロー

台風・大雨時に備えて、避難行動判定フローを参考に、避難するタイミングを考えておきましょう。



マイ・タイムラインをつくろう

余裕をもって安全に避難するためにマイ・タイムラインを作成し、いざというときの自分の行動を確認しておきましょう。

P.16,17を参考に、家族で避難先や緊急時の連絡先などについて話し合い、記入しよう。

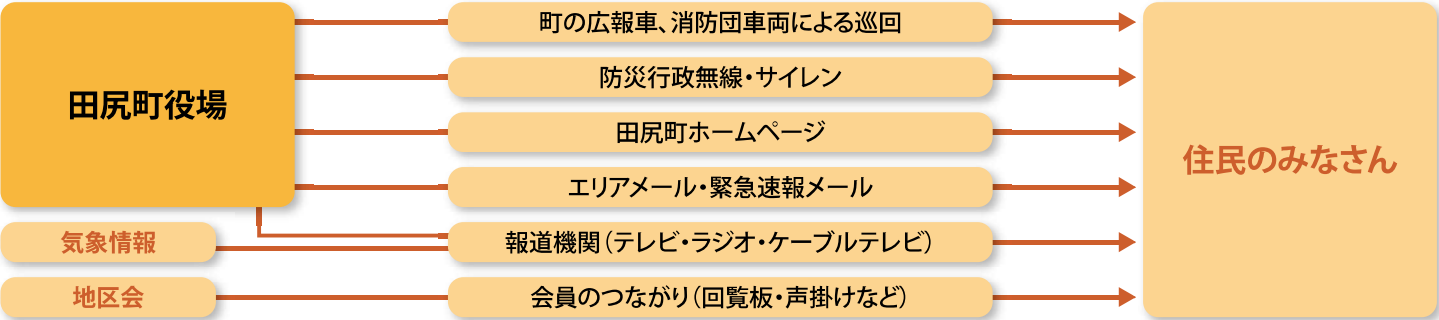
マイ・タイムラインは町のHPからダウンロードすることができます



平常時		気象・避難情報	あらかじめ確認しておくこと／行動内容	
日頃から	災害発生数日前		☐ ハザードマップで自分の住んでいる場所の災害リスクを確認 洪水浸水時 ●被害 ☐ なし ☐ あり 予想される浸水深 m ~ m 高潮浸水時 ●被害 ☐ なし ☐ あり 予想される浸水深 m ~ m ☐ 避難する場所の確認 ●避難する場所： ●移動時間： 分 ●移動方法： ☐ 避難の際、支援が必要な家族・知人・ご近所の確認 ●名前： 電話番号： ●名前： 電話番号： ☐ 避難の際、支援してくれる人の確認 ●名前： 電話番号： ●名前： 電話番号： ☐ 非常持ち出し品を準備 → P.2をチェック	
		大雨や台風接近の予報 警戒レベル1 早期注意情報	☐ 非常持ち出し品の確認 ☐ テレビ等で天気予報を確認 ☐ 親戚・知人宅などへの避難を検討 ☐ 防災情報の取得方法を確認 テレビdボタン	
		警戒レベル2 大雨・洪水・高潮注意報	☐ ハザードマップ等で避難行動を確認 ☐ 携帯電話を充電 ☐ 安否確認方法の確認	
		警戒レベル3 高齢者等避難 大雨・洪水警報、高潮注意報※ 氾濫警戒情報	☐ 災害情報をテレビ等で確認 ☐ 川の水位をインターネット等で確認	
		警戒レベル4 避難指示 土砂災害警戒情報 高潮警報、高潮特別警報 氾濫危険情報	☐ 避難所等への避難を完了 避難が必要な方はこの時点までに全員、安全な場所に避難完了するよう行動を！	
大雨のおそれ	災害発生当日	警戒レベル5 緊急安全確保 大雨特別警報 高潮氾濫発生情報 氾濫発生情報	すでに災害が発生・切迫しています。 命を守るための行動をとりましょう。	
		災害発生	※警報に切り替える可能性に言及されているもの。	

情報の伝達手段

避難情報は、下図のような手段で住民のみなさんに伝達されます。





田尻町LINE公式アカウント

トーク画面にて、毎日の生活に役立つ情報や災害時の緊急情報などが取得できます。

登録方法 LINEアプリなどで、QRコードを読み取り「田尻町」の「追加」ボタンをクリックしてください。

登録用

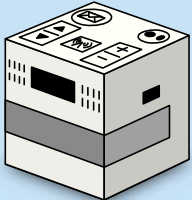




防災情報サービス (田尻町 × J:COM)

戸別受信機により、家の中でも町内放送が聞けるようになります。(利用料金の9割は町が助成します。)
防災情報サービスを利用希望の方は、J:COMへお問合せください。

問合せ先 J:COMカスタマーセンター 0120-989-989 AM9:00~PM6:00 (年中無休)



受信機のサイズ: 8×8×8cm

テレビによる情報の入手例

- 1 NHK総合テレビを表示し、リモコンの「d(データ放送)」ボタンを押してください。
 - 2 リモコンの矢印で「防災・生活情報」に合わせ、「決定」ボタンを押してください。
 - 3 お住まいの町(テレビに設定している郵便番号で判定)から情報が発信されていれば、「避難情報」「避難所開設情報」ボタンが赤くなるので、選択するとそれぞれの情報が表示されます。
- ※府内のどこの地域にも情報がない場合は、ボタンがグレーになります(選択できません)。



家族の連絡先

家族の連絡先などを記入しよう。

名 前	生年月日	血液型	会社や学校の連絡先	携帯電話番号

災害用伝言ダイヤル171

大規模な災害の発生により、被災地への通信がつながりにくい状況になった場合に提供が開始される声の伝言板です。

安否確認方法

171をダイヤル

伝言の録音は①をダイヤル → 被災地の方も、被災地以外の方も被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤル → 伝言を入れる

伝言の再生は②をダイヤル → 伝言を聞く